

面積:200,345平方キロ

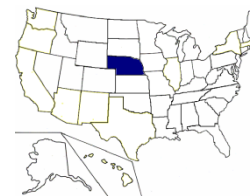
(日本の本州の約9/10)

(全米50州中16位)

人口:1,920,076人(全米37位。白人79.0%、黒人5.1%、ヒスパニック11.0%、アジア2.6%)(2017年国勢調査概算)

州都: Lincoln 愛称: Cornhusker State

ネブラスカ州概要



平成30年8月現在
在シカゴ総領事館

政 治

【州政治】

- 知事:ピート・リケッツ (Pete Ricketts)(共) 2015年就任、現在1期目
- 議会構成: 一院制(総数49議席)超党派 (民主党15 共和党32 無所属1 リパタリアン)
- 内政状況: 1867年の立州以来、共和党支持傾向が強く、1940年来大統領選挙では、1964年のリンドン・B・ジョンソン(民)以外は共和党が制している。ただし、全米でメイン州とネブラスカ州のみが選挙人選出が勝者総取りではなく連邦下院選挙区毎となるため、オマハ市圏を含む連邦下院2区は2008年選挙では民主党(オバマ)が制した。ただし、2016年選挙では同区までも共和党(トランプ)が制した。 全米唯一の一院制州議会は、超党派から成っているが、事実上の所属党派は明らかであり案件毎にまとまる傾向にある。同体制下で、同州は受胎後20週以降の妊娠人工中絶を禁止する歴史的法案を可決し、所得税控除政策を通す等、目立った保守政策をとっている。同州は1947年来のright to work州である。2014年中間選挙でティーパーティー系の連邦上院議員(サッス議員)を選出した唯一の州であり、同議員は2016年大統領選挙において、反トランプの旗手であった。

【連邦政治】

- 大統領選挙人数:4名
- 2016年大統領選挙における勝利政党: 共和党(得票率60.3%)
- 連邦上院議員 デブ・フィッシャー(Deb Fischer)(共) ベン・サッス(Ben Sasse)(共)
- 連邦下院議員(議席数3名) 民主党0名 共和党3名

経 済

【州経済】

- 主要産業
 - 農業:穀物(トウモロコシ、大豆)、畜産(牛)
 - サービス業:保険、通信販売等
- GDP:1,218億ドル(2017年)
- 1人当たり個人所得:50,395ドル(2017年)
- 失業率:2.9%(2018年6月)
- 輸出額:7,206百万ドル(2017年)
- 輸出品目:加工食品、一般機械、農産物、化学製品、輸送用機器
- 輸出相手国(2017年): カナダ(22%)、メキシコ(21%)、日本(11%)、中国(7%)、韓国(6%)
- 財政:(2016年度) (出典:U.S. Census Bureau) 歳入:10,882百万ドル 歳出:11,027百万ドル 債務残高:1,951百万ドル
- 経済状況 Nebraska州は、アイオワ、ミネソタに次ぐトウモロコシ・大豆の生産州であり、カンザスと並ぶ米国を代表する肉牛生産州である。農業生産を背景とした食品加工も盛んであり、コナグラ・フーズの本社がある。また、世界最大の投資持株会社であるバークシャー・ハサウェイ社が本部を置いている。

【対日経済】

- 対日輸入額:249百万ドル(2017年)
- 対日輸出額:775百万ドル(2017年)
- 主要輸出品目:加工食品、化学製品、電算電子機器、輸送用機械、加工金属製品、農産物
- 日系企業の進出状況 約70事業所(2017年)
- 州駐日事務所あり(神奈川県)

日本との関係

【要人往来】

(往)03年6月、ジョハズ知事が対日貿易促進を目的として訪日。06年11月、シーヒー副知事が駐日事務所開所式出席のため訪日。
また、日米中西部会出席のため、知事または副知事が訪日(07年9月ハイネマン知事、11年9月シーヒー副知事、13年9月、ハイデマン副知事、15年9月及び17年9月リケッツ知事)。
(来)18年5月、菌浦総理補佐官が来訪。

【文化、広報関係】

ネブラスカ大学リンカーン校言語学科には日本語講座が開設されており、日系企業(川崎モーターズ)の寄贈により主に日本の図書を集めた「川崎文庫」がある。また、リンカーンにはJET帰国者が創設した太鼓グループ「鼓響太鼓」があり、中西部を中心に活動している。
ネブラスカ大学オマハ校でも日本語講座が開設されている他、毎年姉妹校提携をしている静岡大学から交換留学生が派遣されている。
日米桜寄贈100周年記念事業ではオマハ市に苗木を寄贈。

【在留邦人数(2017年10月1日現在)】

1,327人

【日本人学校・補習校数】

補習校1校(オマハ)

【姉妹都市関係(3)】

静岡市(静岡県)ーオマハ
大津町(熊本県)ーヘイスティング
大津町(熊本県)ーアラパホ
2015年には静岡市とオマハ市の姉妹都市提携が50周年を迎え、2017年には、オマハ姉妹都市協会が、両市の友好親善に尽力してきたことから、外務大臣表彰を受賞した。

【名誉総領事】

ジョージ・J・ベリンジャー(オマハ)